

# 技術・家庭（家庭分野） 1年

## はじめに

技術家庭（家庭分野）では、私たちの生活をよりよくするために役立つ基本的な知識と技術を実践的・体験的な学習を通して身につける教科です。学習を通して身につけた知識や技術を生かして作品を仕上げることや自分の生活を見直し、課題を見つけ、その解決のために工夫し考え、実践することなどに取り組んでいきます。

## 年間計画

題 材	
B 食生活と自立 ・健康と食生活  ・調理をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の役割</li> <li>・生活習慣と食事</li> <li>・中学生に必要な栄養</li> <li>・食品と栄養素</li> <li>・食事の計画</li> <li>・調理の計画</li> <li>・肉・魚・野菜の調理</li> <li>・調理実習 しょうが焼き、青菜のお浸し、 にゅうめんなど</li> </ul>
C 衣生活の自立 ・日常着の活用  ・布を用いた物の製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服のはたらき</li> <li>・衣服の入手計画と選び方</li> <li>・衣服の素材と手入れ</li> <li>・衣服の洗濯、収納・保管</li> <li>・衣服の補修</li> <li>・教科書カバーの製作</li> </ul>

## 教科の先生からのアドバイス

技術家庭は技術分野と家庭分野を二人の教師で担当します。

### ・授業の受け方

- \*チャイムがなる前に準備をし、着席しておこう。  
移動教室の場合特に遅れないように気をつけよう。
- \*忘れ物をしないようにしよう。  
教科書、総合ノートが基本ですが、裁縫道具などが必要になることがあります。プリントをはるためにのりも持ってきておくと便利です。忘れ物をした場合は必ず報告するようにしましょう。
- \*私語をせず、授業に集中しよう。静かにしていれば良いものではありません。積極的に挙手・発言しましょう。実習の時は安全に十分注意し、けがや事故のないように先生の指示をしっかりと聞き作業しましょう。
- \*学習した内容を自分の生活に戻しながら、「なぜそうなるのか」「どうすればよくなるのか」をよく考えよう。考えたことは学習プリント等にしっかりと文章表現することも大切です。
- \*提出物は決められた日に必ず提出しよう。



### ・評価について

評 価 の 観 点	評 価 の 資 料 ・ 対 象
① 生活や技術への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忘れ物、授業態度（積極的に挙手発言しているか。私語なく授業に集中しているか）</li> <li>・提出物は期限までに提出できたか。</li> </ul>
② 生活を工夫し創造する 能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリントや宿題の内容</li> <li>・作品に工夫がみられるか。</li> <li>・定期テストにおけるこの観点の出来具合</li> </ul>
③ 生活の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習態度（調理、裁縫ともに）</li> <li>・実技テスト（きゅうりの輪切り、 玉ねぎのみじん切り）</li> <li>・作品（教科書カバー）の出来</li> <li>・定期テストにおけるこの観点の出来具合</li> </ul>
④ 活や技術についての 知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> </ul>

\*技術分野の内容と合わせて総合的に評価します

### ・家庭でも…


学習した内容を家庭でどんどん実践してみよう。進んで家のことに取り組むことで意欲や技能がさらに高まります。実践したことは必ずノートに記録しておこう！

# 技術・家庭（家庭分野） 2年

## はじめに

技術家庭（家庭分野）では、私たちの生活をよりよくするために役立つ基本的な知識と技術を実践的・体験的な学習を通して身につける教科です。学習を通して身につけた知識や技術を生かして作品を仕上げることや自分の生活を見直し、課題をみつけ、その解決のために工夫し考え、実践することなどに取り組んでいきます。

## 年間計画

題 材	学 習 の 内 容
B 食生活と自立 3. 調理をしよう  ・調理実習	・調理の計画 ・調理の基本 ・おいしさとは ・肉の調理 ・魚の調理 ・野菜の調理 ・豚汁 ・しょうが焼き ・青菜のお浸し ・にゅうめん ・地域の食材と郷土料理 ・受け継がれる食文化
4. 地域の食材と食文化	など 
C 衣生活・住生活と自立 2 快適に住まう ・住まいのはたらき  ・安全な住まい  ・快適な住まい	・住まいのさまざまな役割 ・共に住まう  ・住まいの安全対策 ・災害への備え  ・室内の空気調節
3 生活を豊かにする物を作る	・防災バッグの製作

## ・授業の受け方

- \* チャイムがなる前までに準備をし、着席しておこう。特に移動教室の場合遅れないようにしよう。
- \* 忘れ物をしないようにしよう。教科書・総合ノートが基本ですが、エプロンなどが必要になることがあります。プリントをはるためにのりも持ってきましょう。忘れ物をした場合は必ず報告しよう。
- \* 私語をせず、授業に集中しよう。静かに授業を受けるだけが良い授業とはいえません。積極的に挙手・発言しましょう。特に実習の時は安全と衛生に十分注意し、けがや事故のないように先生の指示をしっかりと聞き作業しましょう。
- \* 学習した内容を自分の生活に返しながら、「なぜそうなるのか」「どうすればよくなるのか」をよく考えよう。考えたことは学習プリント等にしっかりと文章表現することも大切です。
- \* 提出物は決められた日に必ず提出しよう。



## ・評価について

評 価 の 観 点	評 価 の 資 料 ・ 対 象
① 生活や技術への 関心・意欲・態度	・私語なく授業に集中し、積極的に挙手・発言しているか。 ・忘れ物がないか。 ・提出物は期限に提出できたか。
② 生活を工夫し創造する 能力	・学習プリントや宿題、提出物の内容 ・作品に工夫がみられるか ・定期テストにおけるこの観点の出来具合
③ 活の技能	・実習態度（調理、裁縫ともに） ・実技テスト（きゅうりの輪切り、玉ねぎのみじん切り）  ・作品（防災バッグ）の出来 ・定期テストにおけるこの観点の出来具合
④ 活や技術についての 知識・理解	・定期テスト

\* 技術分野の内容と合わせて総合的に評価します

## ・家庭でも…

学習した内容を家庭でどんどん実践してみよう。進んで家のことに取り組むことで意欲や技能がさらに高まります。実践したことは総合ノートの後ろのページに記入しておきましょう。

# 技術・家庭（家庭分野） 3年

## はじめに

技術家庭（家庭分野）では、私たちの生活をよりよくするために役立つ基本的な知識と技術を実践的・体験的な学習を通して身につける教科です。学習を通して身につけた知識や技術を生かして作品を仕上げることや自分の生活を見直し、課題をみつけ、その解決のために工夫し考え、実践することなどに取り組んでいきます。

## 年間計画

題 材	学 習 の 内 容
D 身近な消費生活と環境 ・家庭生活と消費 ・商品の選択と購入 ・よりよい消費生活のために	・幼児の生活と遊び（おもちゃ作り） ・遊びを通して育つ力 ・幼児のこころと身体の発達 ・幼児の生活習慣 ・幼児が喜ぶおやつ
わたしたちの成長と家族・地域	・商品購入のプロセス ・生活情報の活用 ・販売方法と支払い方法 ・消費生活のトラブルを防ごう（ロールプレイング） ・消費者の権利と責任 ・消費者を支えるしくみ

## 教科の先生からのアドバイス

3年生では、技術分野、家庭分野の授業がそれぞれ隔週になります。

### ・授業の受け方

- \*チャイムが鳴る前には準備をし、着席しておこう。特に移動教室の場合、遅れないようにしよう。
- \*忘れ物をしないようにしよう。教科書・総合ノートが基本です。ハンドノートの後ろのページに学習プリントをはったり、板書をまとめたりしよう。プリントをはるためにのりも持ってきましょう。これ以外に必要な持ち物があれば、授業で連絡します。忘れ物をした場合は自分で先生に報告すること。
- \*私語をせず、授業に集中する。特に実習の時は安全に十分注意し、けがや事故のな

いように先生の指示をしっかりと聞き作業する。

- \*学習した内容を自分の生活に活かせるよう、常に振り返り、考え、行動する。考えたことは、総合ノートにしっかりと文章表現しましょう。

\*提出物は決められた日に必ず提出しましょう。



## ・評価について

評 価 の 観 点	評 価 の 対 象
① 生活や技術への 関心・意欲・態度	・授業態度（私語なく授業に集中し、積極的に挙手・発言しているか） ・忘れ物 ・ノートなどの提出物（期限に提出できたか）
② 生活を工夫し創造する 能力	・提出物の内容 ・作品に工夫がみられるか ・定期テストにおけるこの観点の出来具合
③ 生活の技能	・実習態度（調理、裁縫とも正しい手順で作業ができていているか。技能の習熟度、先を考えた行動をしているか） ・定期テストにおけるこの観点の出来具合
④ 生活や技術についての 知識・理解	定期テスト

\*技術分野の内容と合わせて総合的に評価します

## ・家庭でも…

学習した内容を家庭でどんどん実践しましょう。自らの課題を見つけ、進んで衣食住に関係する事に取り組むことで知識や技能がさらに高まります。また実践したことは総合ノートの後ろのページにあるページなどに記しておきましょう。

## おわりに

家庭科は、自分の生活を見直し、考え、工夫し、実践する教科です。社会情勢にも興味関心をもって情報収集しましょう。

三年間のまとめとして、さらに自立した生活ができるようになり、技術力・判断力が高められるように学習を進めていきましょう。